

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2018年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2019年 4 月 19 日 提出

1. 研究課題名	
京都を起点とした染色技術及びデザインのグローバルな展開に関する研究 (英文標記: Research of Kyoto-based Global Development of Printing Techniques and Designs)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
加茂瑞穂(かもみずほ)	京都工芸繊維大学・JSPS 特別研究員
3. 研究分担者 (合計: 6 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
並木誠士(なみきせいし)	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科・教授、同大美術工芸資料館・館長
青木美保子(あおきみほこ)	京都女子大学・教授
鈴木桂子(すずきけいこ)	衣笠総合研究機構・教授
上田文(うえだあや)	関西学院大学・非常勤講師、同志社女子大学・非常勤講師
杉浦未樹(すぎうらみき)	法政大学・教授
山本真紗子(やまもとまさこ)	立命館大学文学部・先端総合学術研究科授業担当講師

4. 研究課題の概要(300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)
<p>これまでの研究課題「デジタル・アーカイブ手法を用いた近代染織資料の整理と活用」と、それに関係した研究プロジェクトにより、学術資料として俎上に上がっていない近代染織史に関連する資料の整理・蓄積が進み、それによって、伝統的地場産業と位置付けられてきた京都の染織のグローバルな展開—近代以降の西洋技術・デザインの導入だけではなく、戦前から始まるアジア・アフリカへの製品輸出・海外事業展開も含む—が明らかになってきた。</p> <p>そこで、研究課題の新しい段階として、近代京都を起点として染色産業がどのように国内外へ展開されてきたのか、あるいは影響を受けてきたのかを染色技術やデザインを通じて明らかにする。具体的には、京都の近代染織、アフリカプリント、伊勢型紙、バティック等をデジタル・アーカイブ化することにより可視化し、デザイン・技術の世界的連環を解明する。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

1. 染織資料のデータベース化

大同マルタ会旧所蔵資料のデータベースを立ち上げ、バイリンガル化も進め、公開の調整段階に入った。

2. 展覧会の開催

展覧会「掌のなかの図案—近代京都と染織図案 II」を京都工芸繊維大学美術工芸資料館において開催した。

3. 染織研究者のネットワーク構築

・シンポジウム「Printed Textiles for West Africa. c1860-1980s」Roundtable History & Design, Kosode & Banyans: Contested World Views in an Attire c1580-1910」がヨーロッパで開催され、本共同研究のメンバーが各シンポジウムで発表をおこなった。

・浜松市博物館・静岡文化芸術大学関係者らと研究交流を進め、展覧会「浜松の染色の型紙-機械染色の型紙を中心として-」に協力した。また、関連シンポジウムでは共同研究メンバーが講演をおこなった。

4. 染織従業者らへの聞き取り調査と聞き取り記録のデジタル・アーカイブ

・アフリカプリントに関する聞き取り調査を計 4 回行い、2018 年度は新たに調査先が加わった。

・「マドレー染」と呼ばれる昭和期に途絶えた染色技法を復活させ、ドレスを制作し、そのドレスをもとにして高島屋新作ゆかたとして販売した。

・機械捺染のロールを彫刻するために使用された「ポンチングマシン」が奇跡的に稼働した。当時の様子を知る職人の方に協力を仰ぎ、彫刻の様子を再現する動画を記録・作成した。

上記の活動を通じ、研究者のみならず社会にもむけても研究成果発信をおこなった。

6. 研究業績**(1) 著書**

・「名称」、単著・共著の別、発行年月、発行所、その他編者・著者名、担当頁数

・『近代京都の機械捺染図案を今ふたたびよみがえる寺田コレクション—』報告書、共著、2018 年 5 月、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、青木美保子、上田文、全 27 ページ

・『掌のなかの図案—近代京都と染織図案 II 展図録』共著、2018 年 10 月、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、岡達也・加茂瑞穂、全 24 頁

・『近代京都の美術工芸:制作・流通・観賞』2019 年 3 月、思文閣出版、並木誠士編著

・並木誠士「浅井忠とパリー近代日本における芸術家の転身をめぐる考察—」(pp.3-25)

・青木美保子「京都における染織工芸の近代化—写し友禅・機械捺染・墨流し染—」

・山本真紗子「美術貿易黎明期の京都とロンドン—美術商池田清助とトーマス・ラーキン」(pp.271-292)

・上田文「水曜会をめぐる考察—竹内栖鳳塾における明治 30 年代後半の新動向」(pp.155-188)

・加茂瑞穂「明治期京都における染色デザインの展開」(pp.351-372)

『MADE IN JAPAN 日本の匠:世界に誇る日本の伝統工芸』共編、2018 年 10 月、IBC パブリッシング、前崎信也・山本真紗子編、全 147 頁

・Linking Cloth/Clothing Globally, Transformations of Use and Value, c.1700-2000, 共著、March, 2019, Tokyo: ICES, Hosei University Publishing, Miki Sugiura, ed.

Keiko Suzuki, "Kimono Culture in Twentieth-Century Global Circulation," pp. 272-298.

(2) 論文**査読有**

・Miki Sugiura "Mass Consumption of Refashioned Clothes. Re-dyed kimono in post war Japan", I, Business History, DOI: 10.1080/00076791.2018.1494730

査読無

・Masako Yamamoto Maezaki "Innovative Trading Strategies for Japanese Art: Ikeda Seisuke, Yamanaka & Co. and their Overseas Branches(1870s-1930s)", by Bénédicte Savoy, Charlotte Guichard, and Christine Howald (Ed.), Acquiring Cultures: Histories of World Art on Western Markets, Berlin: De Gruyter, 査読無

(3) 研究発表等

・「発表題名」、発表年月、発表会議名、開催場所、その他発表者名、査読有無

査読有

・上田文「近代の絣と京都の機械捺染—デザインと技術をめぐって—」意匠学会第 60 回大会、2018/8/8、同志社大学寒梅館ハーディーホール

査読無

・加茂瑞穂「文様の宝庫—型紙とデジタル・アーカイブ—」2018/7/6、第1回データ科学セミナー、東京電機大学

・加茂瑞穂「明治期における懸賞染織図案募集の動向—友禅協会を例として」2018/9/13、消費とデザイン研

研究会、文京学院大学

加茂瑞穂「染色型紙の整理と活用、そして情報発信」2019/2/9、シンポジウム「型紙から見る浜松と遠州における染色の技法とデザイン」、静岡文化芸術大学

・Aya Ueda, "Japanese African Print: Order Production and 'Pekalongan' Design, 1960s-1980s", 国際ラウンドテーブル "History & Design Roundtable: Printed Textiles for West Africa. c1860-1980s. Low Countries, Scotland, Switzerland, Japan and their Global Connections," 2018/09/04, University of Leuven, Leuven, Belgium, 2018/9/4

・鈴木桂子「機械捺染とデザインに見る越境性」、2019/03/30、消費とデザイン研究会、文京学院大学

・加茂瑞穂「染色デザインの近代化—京都における図案募集をめぐる—」、2019/03/30、消費とデザイン研究会、文京学院大学

・Keiko Suzuki, "Design Dialogues: Questions on Kosode and Japanese Rok's Commonalities," 国際ラウンドテーブル "History & Design Roundtable: Kosode & Banyans: Contested World Views in an Attire c1580-1910," 2018/09/12、英国・ウォーリック大学

・Keiko Suzuki, "Rethinking Katagami Designs from a Global Perspective," by Keiko Suzuki, 国際ラウンドテーブル "History & Design Roundtable: Printed Textiles for West Africa. c1860-1980s. Low Countries, Scotland, Switzerland, Japan and their Global Connections," 2018/09/04、ベルギー・ルーヴェン大学

・鈴木桂子「身装画像データベース<近代日本の身装文化>のためのターミノロジーの英語翻訳」、『身装文化デジタルアーカイブ研究会』、2018/08/28、国立民族学博物館

・Keiko Suzuki, and Li Zengxian, "On Digitalization of Textile and Old Books," 国際ワークショップ "Seminar and Workshop at the National Museum of Indonesia," 2018/08/13、インドネシア国立博物館

・青木美保子「京都の販女文化-大原女さんの服装美-」京都販女文化研究会例会、京都女子大学、2018/6/24

・山本真紗子「大原女—イメージと実像の変遷」京都販女文化研究会例会、京都女子大学、2018/6/24

・青木美保子「染織関係資料の保存と活用について」シンポジウム「近代京都産業遺産の保存と活用」近代京都産業遺産研究会、同志社大学今出川キャンパス、2018/10/21

・青木美保子「伝統の染織工芸に関わる産学連携プロジェクト—その活動の意義を考える—」日本家政学会服飾史・服飾美学部会 平成30年度第1回研究会、同志社女子大学、2018/10/27

(4) 主催したシンポジウム・研究会等

・シンポジウム「近代京都図案集」、京都工芸繊維大学 2018/10/14、30名、京都市立芸術大学芸術資料館

(5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

・加茂瑞穂「美術 いま関西で14」『大阪日日新聞』2018年10月23日

・山本真紗子「美術 いま関西で10」『大阪日日新聞』2018年8月14日

・山本真紗子「美術 いま関西で16」『大阪日日新聞』2018年11月13日

・山本真紗子「京都画壇の明治 一流派を越えた交流と「教育」の生み出したもの—」『民族芸術』(民族芸術学会)35号、pp.170-171、2019年

・青木美保子「復活した希少染色技法「マドレー染」の活用-ビジネス展開に向けて-」平成30年度(一社)日本家政学会色彩・意匠学部会春季公開セミナー、京都光華女子大学、2019年2月25日

・並木誠士「近代京都産業遺産の保存と活用」(基調講演、シンポジウム「近代産業遺産の保存と活用」2018年10月20日、於:同志社大学)

・鈴木桂子「海を渡った「きもの」文化 全3回講義」(第1回「江戸時代の「きもの」文化とオランダ貿易」;第2回「近代の「きもの」文化とジャポニスム」;第3回「20世紀の「きもの」文化と国際化」)、2018/04/19-2018/06/21、立命館アカデミックセンター主催 2018年度おとなの学び舎

・鈴木桂子、「近代以降のコンタクト・ゾーンにおけるキモノ文化」、2019/01/12、立命館土曜講座、立命館大学

(6) 受賞学術賞

特になし

(7) 科学研究費助成事業

・研究課題名、研究種目、開始年月—終了年月、役割(代表・分担)

・「近代京都の美術・工芸に関する総合的研究-制作・流通・鑑賞の視点から-」基盤B、2015年4月-2019年3月、代表者:並木誠士、分担者:青木美保子、上田文、山本真紗子、加茂瑞穂

・「近世後期から明治期京都における染織意匠の展開に関する研究」特別研究員奨励費、2017年4月-2020年3月、代表者:加茂瑞穂

・鈴木桂子「染色デザインの世界的連環—「きもの」文化を中心に」、基盤研究(C)、2018年4月-2021年3月、代表

・「18~20世紀の糸・布・衣の廉価化をめぐる世界史」、基盤研究(B)、2015年4月-2019年3月、代表:杉浦

未樹、分担:鈴木桂子

(8)競争的資金等(科研費を除く)

・鈴木桂子「服飾のグローバリゼーション 1600-2015—日本・東アジアの視点から」、立命館大学研究高度化推進制度・研究成果国際発信プログラム、2018年4月-2019年3月」、代表

・鈴木桂子「デジタル時代における日本・インドネシア関係」、立命館大学研究高度化推進制度・研究成果国際発信プログラム、2018年4月-2019年3月、分担

(9)その他

展覧会企画

・岡達也・加茂瑞穂 展覧会「掌のなかの図案—近代京都と染織図案 II」、京都工芸繊維大学美術工芸資料館 2018/10/1-10/27